

# 書くこと：(中学年)

## Step 1 単元・教材の決定

3年：組み立てを考えて、ほうこくする文章を書こう  
「仕事のくふう、見つけたよ」

4年：事実を分かりやすくほうこくしよう  
「新聞を作ろう」

【3】年			【4】年		
月	単元名・教材名	時数	月	単元名・教材名	時数
6月	まいごのかき	1	6月	漢字の広場②	2
(書)	俳句を楽しまう	2	(書)	一つの花	7
	こそあど言葉を使いこなそう	1		つなぎ言葉のはたらきを知ろう	2
	【じょうほう】引用するとき	3		短歌・俳句に親しもう(一)	1
	<b>仕事のくふう、見つけたよ</b>	1		【しようじょう】要約するとき	2
	<b>【コラム】符号など</b>	1		<b>新聞を作ろう</b>	12
7月	夏のくらし	2	7月	【コラム】アンケート調査のしかた	2
(書)	はじめて知ったことを知らせよう	5	(書)	カンジーはかせの都道府県の旅2	2
	鳥になつたきょうりゅうの話	2		夏の楽しみ	2
	作文指導(鼎作・ネリア・読書感想)	2		事実にもとづいて書かれた本を読もう	5
	予備	0		予備	5
学期計	75	1学期計	75	80	1学期計

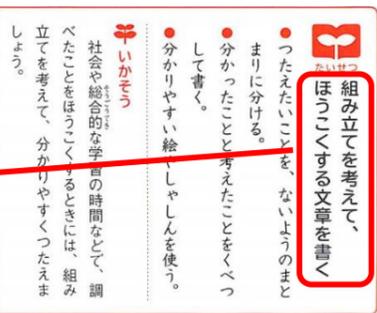
## Step 2 単元目標や指導事項の確認

① 単元名等から単元で身に付けさせたい力を明確にもつ。

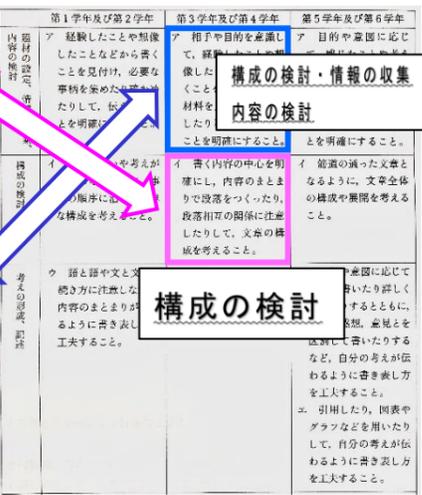
書くこと(3・4年)

3年：内容のまとまりごとに構成を組み立てて、報告する文章を書く力  
4年：新聞の特徴を踏まえ、記事にすることを決めて、事実を分かりやすく伝える文章を書く力

【国語教科書(光村図書)】



【学習指導要領解説「国語編」】



② 指導書等の単元の指導目標と学習指導要領の指導事項とをすり合わせる。

≪3年の指導目標≫：指導書

- ◎ 段落の役割について理解することができる。(知(1)カ)
- ◎ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮することができる。(思 B(1)イ)
- ◎ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思 B(1)オ)
- 改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。(知(2)ウ)
- 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方を理解し使うことができる。(知(2)イ)
- 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思 B(1)ア)

≪4年の指導目標≫：指導書

- ◎ 相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思 B(1)ア)
- ◎ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮することができる。(思 B(1)イ)
- 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知(2)イ)
- 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思 B(1)エ)

## Step 3 単元を通した言語活動の設定

3年：来校者に向けて、分かりやすい報告書を書く。  
4年：来校者に向けて、宇宿小の行事を分かりやすく伝える新聞を書く。

両学年共通の言語活動

分かりやすく伝える文を書こう。  
3年：「先生方の仕事のくふう」報告書  
4年：「宇宿小の行事」新聞



## Step 4 単元計画の実際

3・4年複式「書くこと」単元計画

3年

4年

～組み立てを考えて、ほうこくする文章を書こう～

～事実を分かりやすくほうこくしよう～

「仕事のくふう、見つけたよ」

「新聞を作ろう」

学習活動	学習活動
1 ゴールの活動をイメージ	1 ゴールの活動をイメージ
これまでの「書く学習」を振り返り、「調べて報告する文章(報告書と新聞)を書く」という共通の言語活動を知る。	これまでの「書く学習」を振り返り、「調べて報告する文章(報告書と新聞)を書く」という共通の言語活動を知る。
来校者に、学校紹介新聞で分かりやすく伝えます！先生方の仕事のくふう	来校者に、学校紹介新聞で分かりやすく伝えます！宇宿小の行事
どのように報告書を書けば、先生方の仕事の工夫が来校者に分かりやすく伝わるのだろうか。	どのように新聞を書けば、学校の行事の様子が来校者に分かりやすく伝わるのだろうか。
2 学習計画	2 学習計画
① 報告書の書き方を教材文から学ぶ。 ② 仕事の工夫を調べて、組み立て、報告書を書く。 ③ 報告書を発表し、振り返る。	① 新聞の書き方を教材文から学ぶ。 ② 調べて、割り付けをし、新聞を書く。 ③ 新聞を発表し、振り返る。
3 レポートの特徴(組み立てや横書きのきまり)を知る。	3 新聞の特徴(工夫)を知る。
◎ 内容のまとまりと順序(時系列) ◎ 句読点、中点、かぎ、ダッシュ ◎ 伝えたいことに見合った絵や写真、グラフや図表	◎ 記事の大小や位置 ◎ 見出しの工夫(要約型、興味型) ◎ 事実が明確に伝わる写真や絵、グラフや図表
4 分かりやすく報告する文章(報告書)の書き方のポイントを知る。	4 事実を分かりやすく伝える文章(新聞)の書き方のポイントを知る。
◎ 分かったことと考えたことの区別(段落分け) ◎ 引用 ◎ 例を挙げて書く	◎ 逆三角形型の文章(書き出し、5W1H) ◎ 事実と意見/感想の区別 ◎ 必要に応じて説明を加える
5 調べたい先生と聞きたいことを決める。	5 作りたい新聞のイメージをもち、取材計画を立てる。
・ 校長、教頭先生 ・ 担任、加配の先生 ・ 保健、事務、事務補の先生 ・ 支援員、司書補の先生 等	・ 入学式 ・ 卒業式 ・ 運動会 ・ 学習発表会 ・ 一日遠足 ・ 修学旅行 等
6～7 先生方の仕事の工夫について調べる。	6～7 学校行事を取材して、材料を集める。
・ インタビュー ・ 電話(オンライン) ・ 写真撮影 等	・ 実際に見て調べる。(経験) ・ インタビュー ・ アンケート
8 報告する文章の組み立てを考える。(組み立ててメモ)	8 割り付けを考える。
9 報告する文章を書く。	9 新聞を書く。
10 共有し、推敲する。	10 共有し、推敲する。
11 報告書を完成させる。	11 新聞を完成させる。
12 報告書を発表し、学習を振り返る。	12 新聞を発表し、学習を振り返る。

報告する文章が書けるようになりたい(必要感)

まとまりごとに書くこと(実感)

構成を組み立てて報告書を書けるよ(達成感)

新聞が書けるようになりたい(必要感)

書き方の工夫をするよ(実感)

事実を分かりやすく伝える新聞を書けるよ(達成感)

必要性

自律性

関係性

有用性

分かりやすく伝える文を書こう  
3年：「先生方の仕事のくふう」報告書  
4年：「宇宿小の行事」新聞

内容のまとまりごとに構成を組み立てて、報告する文章を書く力

新聞の特徴を踏まえ、記事にすることを決めて、事実を分かりやすく伝える文章を書く力

Step 5 1 単位時間の実際

本時 (第3学年: 4/12)

本時 (第4学年: 4/12)

(1) 目標

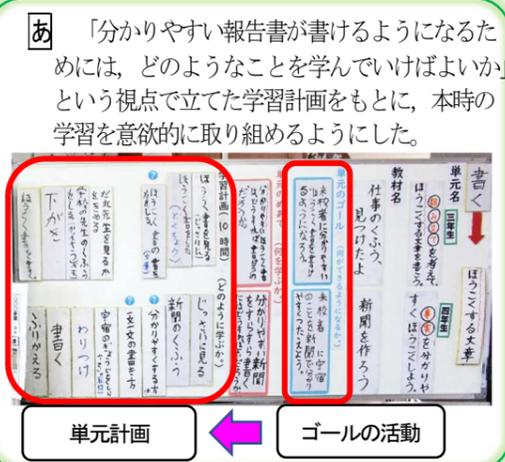
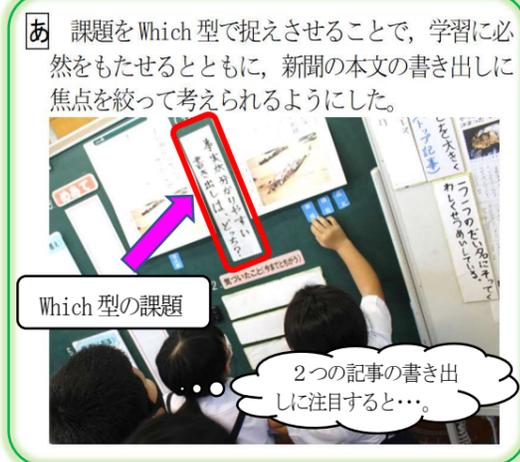
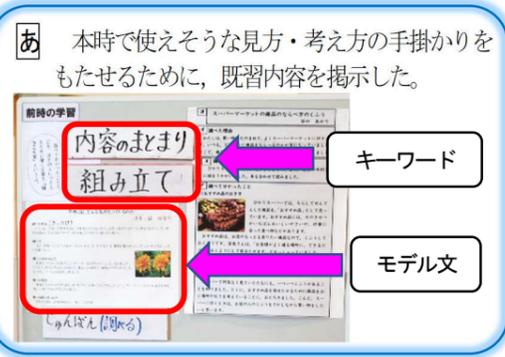
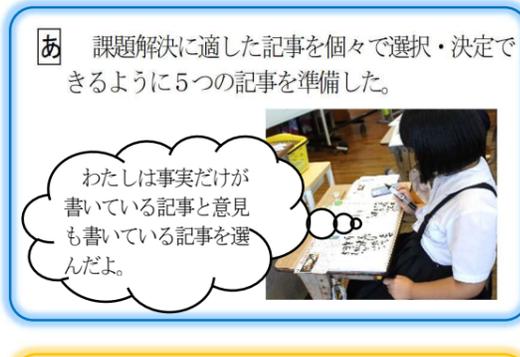
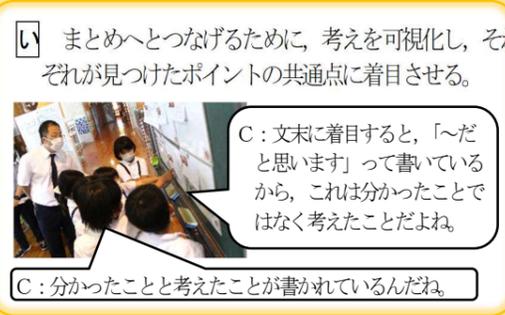
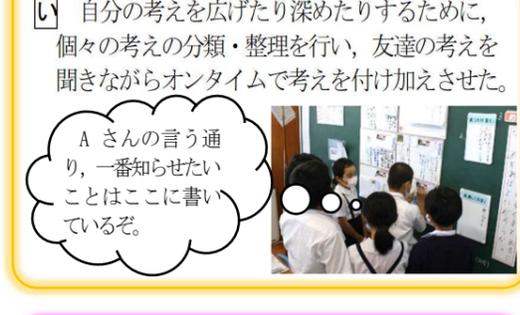
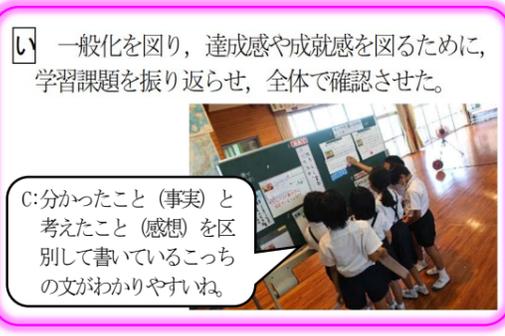
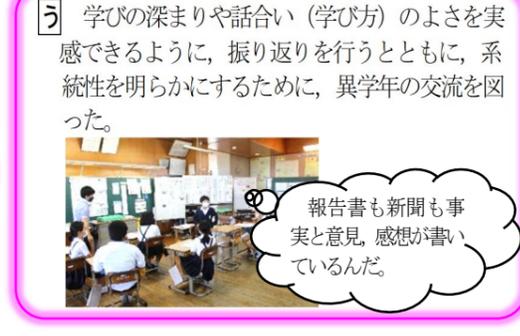
○ 分かりやすく報告する文章の書き方のポイントを理解することができる。

○ 事実を分かりやすく伝えるように書くポイントを理解することができる。

(2) 指導に当たって

同時導入で授業を展開し、つかむ・見通す段階では、Which型の課題提示を行い、必要感をもって学習に取り組めるようにする。また、学習計画からガイドを中心に自分たちで学習のめあてを立てさせたり、具体的な課題解決の見通しをもたせたりし、主体的に課題解決に取り組ませたい。練り上げの段階では、自力解決したことについてガイドを中心に話し合わせ、共通点を探していく活動からまとめへとつなげる。まとめる段階では、共通点や大切な言葉を基に自分たちでまとめができるようにしたい。振り返りの場面では、肯定的に考えの変容を捉えさせ、最終的な自分の考えを明確にさせる。さらに、異学年の交流を図り、本時でどのようなことができるようになったのか、どのように考えが変容したのかを子供に実感させられるようにしたい。

(3) 実際 ※ 必要性:   自律性:   関係性:   有用性:   あ: 子供の主体的な学習 い: 同学年の学び合い う: 異学年の学び合い え: 積極的な個別対応

指導上の実際	主な学習活動 (第3学年)	過程	位置/時間	過程	主な学習活動 (第4学年)	指導上の実際
<p><span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">あ</span> 「分かりやすい報告書が書けるようになるためには、どのようなことを学んでいけばよいか」という視点で立てた学習計画をもとに、本時の学習を意欲的に取り組めるようにした。</p>  <p>単元計画 ← ゴールの活動</p>	<p>1 単元のめあてとゴールの確認</p> <p>2 前時の復習</p> <p>3 学習問題 (本時の学習) の確認</p> <p>分かりやすい報告書はどちらでしょう。</p> <p>4 気付いたことの話合い</p> <p>報告書の「調べて分かったこと」の文章だ。段落やかぎに違いがあるな。</p> <p>5 めあての設定</p> <p>分かりやすく報告するために、報告書にはどのような書き方のポイントがあるのだろうか。</p>	つかむ	10	つかむ	<p>1 単元のめあてとゴールの確認</p> <p>2 前時の復習</p> <p>3 学習問題 (本時の学習) の確認</p> <p>事実が伝わりやすい新聞はどちらでしょう。</p> <p>4 気付いたことの話合い</p> <p>新聞記事の本文だ。こっちは、最初にどんなことがあったのかを書いているな。</p> <p>5 めあての設定</p> <p>事実を分かりやすく伝えるために、新聞にはどのような書き方のポイントがあるのだろうか。</p> <p>6 解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のモデル文から、書き方のポイントを見つける。</li> <li>身近な新聞から、書き方のポイントを見つける。</li> </ul>	<p><span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">あ</span> 課題を Which 型で捉えさせることで、学習に必然をもたせるとともに、新聞の本文の書き出しに焦点を絞って考えられるようにした。</p>  <p>Which 型の課題</p> <p>2つの記事の書き出しに注目すると...</p>
<p><span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">あ</span> 本時で使える見方・考え方の手掛かりをもたせるために、既習内容を掲示した。</p>  <p>内容のまとめ ← キーワード</p> <p>組み立て ← モデル文</p>	<p>6 解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の報告書を見ながら、書き方のポイントを見つける。</li> <li>身近な報告書を見ながら、書き方のポイントを見つける。</li> </ul> <p>7 自力解決</p> <p>分かりにくい言葉を書く時には、例を挙げて書いているな。</p> <p>まとまりで、段落が分かっているな。</p>	見通す		見通す	<p>7 自力解決</p> <p>いつ、どこで、だれが、何をどうしたか等、あった出来事を順番に書いているな。</p> <p>難しい言葉は、読む人が分かりやすいように説明が書かれているな。</p>	<p><span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">あ</span> 課題解決に適した記事を個々で選択・決定できるように5つの記事を準備した。</p>  <p>わたしは事実だけが書いている記事と意見も書いている記事を選んだよ。</p>
<p><span style="border: 1px solid yellow; padding: 2px;">い</span> まとめへとつなげるために、考えを可視化し、それが見つけたポイントの共通点に着目させる。</p>  <p>C: 文末に着目すると、「〜だ」と思っていますって書いてあるから、これは分かったことではなく考えたことだね。</p> <p>C: 分かったことと考えたことが書かれているんだね。</p>	<p>8 考えの共有</p> <p>話を引用している文には、「かぎ」が使われていたよ。</p> <p>段落が分かれているのは、分かったことと考えたことのまとめごとにも書いているからじゃないかな。</p>	調べる	23	調べる	<p>8 考えの共有</p> <p>どんな出来事 (事実) があったのか、書き出しに最も伝えたいことを書いてあったよ。</p> <p>出来事から記者が考えたことを書き加えていたよ。</p>	<p><span style="border: 1px solid yellow; padding: 2px;">い</span> 自分の考えを広げたり深めたりするために、個々の考えの分類・整理を行い、友達のことを聞きながらオンタイムで考えを付け加えさせた。</p>  <p>Aさんの言う通り、一番知らせたいことはここに書いています。</p>
<p><span style="border: 1px solid pink; padding: 2px;">い</span> 一般化を図り、達成感や成就感を図るために、学習課題を振り返らせ、全体で確認させた。</p>  <p>C: 分かったこと (事実) と考えたこと (感想) を区別して書いているこっこの文がわかりやすいね。</p>	<p>9 学習のまとめ</p> <p>分かったことと考えたことを区別して段落を分けて書いたり、分かりにくい言葉は例を挙げて書いたりするなどのポイントがある。</p> <p>10 習熟</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題を振り返り、より分かりやすい報告書はどちらかを考える。</li> </ul> <p>11 振り返り・交流</p> <p>段落を分けなくて書いた方がいいと思ったけど、分かったことと考えたことはちがうから、それぞれ段落ごとに分けて書けばよいことが分かりました。</p>	練り上げる		練り上げる	<p>9 学習のまとめ</p> <p>事実を分かりやすく伝えるために、書き出しに最も伝えたいことを書いたり、事実と意見、感想を分けて書いたりするなどのポイントがある。</p> <p>10 習熟</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題を振り返り、より事実が伝わりやすい新聞はどちらかを考える。</li> </ul> <p>11 振り返り・交流</p> <p>事実を分かりやすく伝えるために、いろんな書き方のポイントがあることが分かりました。実際に書く時に、しっかりとポイントをおさえて書きたいです。</p>	<p><span style="border: 1px solid pink; padding: 2px;">う</span> 学びの深まりや話合い (学び方) のよさを実感できるように、振り返りを行うとともに、系統性を明らかにするために、異学年の交流を図った。</p>  <p>報告書も新聞も事実と意見、感想が書いているんだ。</p>
		まとめる	12	まとめる		
		振り返る		振り返る		